

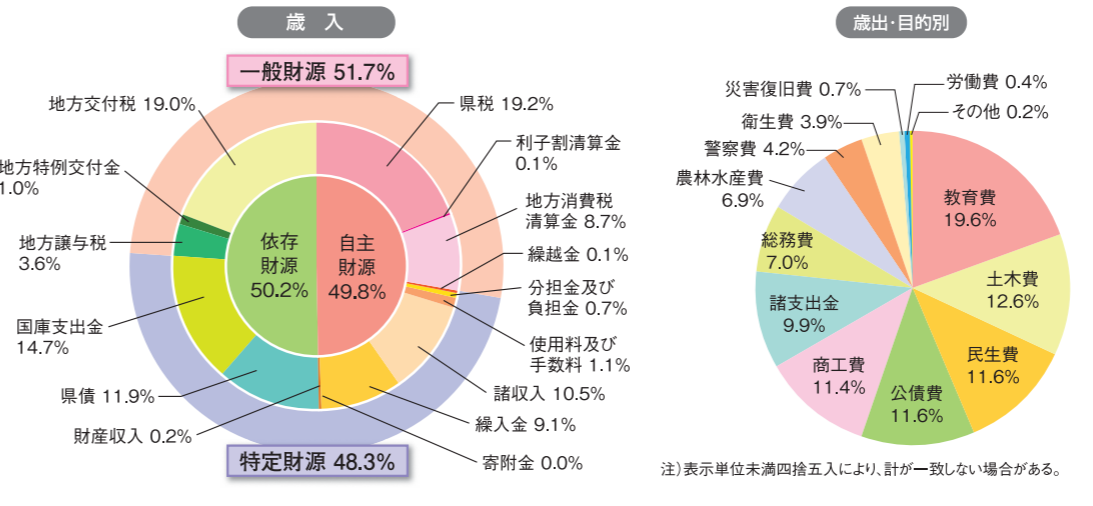
共創で歩む復興創生予算

令和8年度予算 1兆2,606億円を可決

令和8年度は、震災と原発事故から15年が経過し、第3期復興・創生期間の初年度となります。また、県政150周年の大きな節目を迎える重要な一年です。

2月定例会では、あらゆる主体と連携・共創し、誰もが活躍できる「福島ならではの」県づくりに向け、「復興・再生」と「地方創生」を一層推進するとともに、長引く物価高への対応に加え、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革などを推進していくと、令和8年度一般会計予算案を可決しました。

そのほか、知事提出議案として、特別会計等予算に関する議案28件、条例関係33件、その他23件、議員提出議案3件、合わせて88件の議案を可決しました。



令和8年度 8つの重点プロジェクト 483事業 3,099億円

「復興・再生」の加速	「地方創生」の推進
避難地域等復興加速化 38事業 324億円 ●福島国際研究教育機構地域連携加速化事業 ●福島県営農再開・高付加価値産物展開支援事業	輝く人づくり 123事業 152億円 ●ふくしま生活推進プロジェクト ●子育てエール事業
人・きずなづくり 40事業 145億円 ●連携・共創による地域情報発信強化事業 ●チャレンジふくしま世界への情報発信事業	豊かなまちづくり 65事業 594億円 ●ふくしま自転車安全利用教育推進事業 ●市町村財政緊急支援パッケージ
安全・安心な暮らし 78事業 288億円 ●防災行動計画促進事業 ●「見る。知る。探す。」介護のしごとと魅力発見事業	しごとづくり 45事業 813億円 ●中小企業「資金UP」応援事業 ●建設産業の魅力・やりがい創出支援事業
産業推進・なりわい再生 61事業 735億円 ●水産業再生推進総合対策事業 ●麦・大豆等需要拡大・生産向上支援事業	魅力発信・交流促進 33事業 50億円 ●未来へつなぐ猪苗代湖交流学習推進事業 ●ふくしま関係人口拡大・深化プロジェクト

可決した国への意見書は、県議会ホームページをご覧ください

海外行政調査団が調査結果を議長報告

昨年11月に派遣した県議会海外行政調査団の2班は2月16日、議長に調査結果を報告した。

A班は、ドイツ、オランダ、スペイン、フランスを歴訪し、水素や再生可能エネルギー、地域振興等の取組を調査した。B班は、アメリカを訪れ、本県の避難地域復興、風評・風化対策等について調査した。

A班の佐藤雅裕団長、佐久間俊男副団長、B班の大塚秀樹団長、水野透副団長が議長へ報告書を手渡し、その内容を報告した。

令和7年度補正予算案を可決

補正予算は、物価高に対応する県独自の取組を始め、国の補正予算を活用した事業などへの経費が計上されました。併せて年間所要見込額の確定に伴って補正についても計上され、令和7年度一般会計補正予算は、総額416億3千4百万円の減額が可決されました。

その後、総務部長に対して調査結果を踏まえ、本県の復興・復興並びに発展に向けて広く役立ててもらおうと申し入れを行った。

議員勉強会を開催

2月25日日本銀行福島支店森下謙太郎支店長を講師として迎え、福島県経済の現状と先行きについて学び、理解を深めた。

本会議終了後には、議長室で肖像画も贈られた。

総括審査会を開催

3月17日と18日の両日にわたり、本会議や常任委員会等、議論が尽くせなかった問題について一問一答により審議する総括審査会を開催した。各会派から10名の委員が、各施策について執行部の取組を質した。

常任委員会が審査を実施

開会日には、在籍24年に達した永年勤続功労者として太田光義議員に表彰状が贈られた。太田議員は7期目で、過去には県議会議長も務めた。

常任委員会は、6日間に渡って開かれ、各委員会が所管する部局等の新年度予算案等について審査を行った。

令和8年度当初予算について

本県は、いまだ途上にある復興に加え、急激な人口減少や物価高騰による県民生活や中小企業経営への影響といった課題に直面しており、切れ目のない取組を進めていく必要がある。

特に人口減少については、若年女性の流出による社会減と出生数減による自然減が加速している。県が人口減少へ「オール福島」で取り組むため始めた「ふくしま共創チーム」の成果が期待される。

また、新年度からは、第3期復興・創生期間が始まる。総合計画の目標達成に向け、これまでの取組を更に磨き上げ、より効果的・効果的な事業構築が重要である。そこで、知事は、何に重点を置いて令和8年度当初予算を編成したのか尋ねる。

答弁 新年度予算は、「共創で歩む復興創生予算」と位置付けた。

定例会での主な質問

代表質問 2月25日

宮下 雅志議員

質問 本県は、いまだ途上にある復興に加え、急激な人口減少や物価高騰による県民生活や中小企業経営への影響といった課題に直面しており、切れ目のない取組を進めていく必要がある。特に人口減少については、若年女性の流出による社会減と出生数減による自然減が加速している。県が人口減少へ「オール福島」で取り組むため始めた「ふくしま共創チーム」の成果が期待される。

答弁 新年度予算は、「共創で歩む復興創生予算」と位置付けた。

追加代表質問 2月27日

三瓶 正栄議員

質問 東日本大震災と原発事故から15年となり、記憶の継承が難しくなっている。近年も全国各地で大規模な災害が発生し、東日本大震災と原発事故の風化に拍車がかかっている。本県の復興はいまなお途上であり、風化の進行は本県に対して、国内外からの共感や理解が得にくくなるなど、復興に向けた障壁になりかねない危険性がある。4月から第3期復興・創生期間に入る中、復興を加速させていくためには、本県への関心を呼び起こし理解醸成を進めることが必要であり、風化の防止に向けた情報発信が極めて重要である。

答弁 風化の進行は、復興を進めていく中で、大きな妨げとなることから、これまで、復興に向け

代表質問 2月24日

鈴木 智議員

質問 震災と原発事故から間もなく15年を迎える。福島県では避難指示区域が大幅に縮小し、インフラの復旧や拠点施設の整備の進展、県産農林水産物の輸入規制が5つの国・地域まで減少するなど、復興は着実に前進している。一方で、依然として多くの方々が避難生活を続けているほか、避難地域の復興・再生、廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題に加え、復興の進展に伴う新たな課題も発生し、多くの困難を抱えている。

4月から始まる第3期復興・創生期間の5年間は、残された課題の解決に道筋をつけ、福島の復興・創生を更に前進させる極めて重要な期間となる。

そこで、知事は、震災と原発事故から15年を迎えるに当たり、今後の県政をどのように運営していく考えなのか尋ねる。

答弁 人々の挑戦を支え、希望

追加代表質問 2月27日

佐藤 徹哉議員

質問 内堀知事は郡山市を人口減少率の低い「トップランナー」と評価し、今後も人口減少や地域課題へ対応しながら、自立持続可能な発展を目指すよう激励し、若者を増やす・移住者を増やす・観光客を増やすという「3つの増やす」を提唱した。

また、民間シンクタンクの県立高校の2年生を対象にした調査結果から、県内に住み続けたい層を増やす重要性や、県内企業を知りたい生徒が一定数いる現状を指摘し、企業自身も積極的に情報発信してほしいと訴えた。

若者の定住には地元で就職してもらうことが重要である。そのため、県内企業が働く魅力を作る。そこで知事は、若者の県内就職に向けた情報発信にどのように取り組んでいくのか尋ねる。

その他の主な質問

- 災害に強い県づくり
- 県立学校における探究的な学びの推進

風化対策について

新年度には、首都圏への発信を強化するほか、イベントや各種メディアを活用した取組を、関西圏や中部圏等で層拡充し、新たに北海道でも展開するなど、市町村と連携しながら、ふくしまの今が伝える情報発信に取り組む。

3月に震災と原発事故から15年を迎え、4月からD/Cが開催されるなど、本県に対して多くの注目が集まる。これまでの支援に対する感謝を伝えるとともに福島に心を寄せさせることも「ふくしま」な「御縁」をより一層深めながら風化対策に力を注ぐ。

その他の主な質問

- 地域特性及び若者の声を踏まえたいく人口減少対策
- ふくしまD/Cにおける海外への情報発信

3月3日

自由民主党 菅田 憲孝議員

1 県産品の輸出拡大
2 慢性腎臓病対策について
3 産業廃棄物処理における循環経済への転換

自由民主党 渡部 英明議員

1 酒米の安定生産
2 尾瀬国立公園の保全と活用
3 みなみあいづ支援学校について

3月4日

自由民主党 猪俣 明伸議員

1 発酵ツーリズムの推進
2 シェアリングの活用支援
3 県内企業の人材確保

自由民主党 石井 信天議員

1 少子化対策について
2 地域の宝を活用した観光振興
3 警察職員の不祥事案防止

自由民主党 吉田 誠議員

1 学校給食費の負担軽減
2 阿武隈川上流遊水地群について
3 県道下松本鏡石停車場線の整備

3月2日

自由民主党 山口 信雄議員

1 水素関連産業の振興
2 ケアマネジャーへの支援
3 公立小中学校体育館へのエアコン設置

自由民主党 山田真太郎議員

1 子ども・若者の居場所づくり支援
2 子どものインターネット利用
3 農業水利施設の保全

自由民主党 佐藤 郁雄議員

1 ふくしまD/Cを契機とした鉄道観光振興
2 災害発生時のアスベスト対策
3 医療機関の支援

3月4日

自由民主党 鈴木 優樹議員

1 プレコンセプションケアの推進
2 無痛分娩について
3 いじめ事案への対応

自由民主党 三村 博隆議員

1 ふくしまクリーン復興構想について
2 震災の記憶と教訓の継承
3 狩猟者の確保と育成

自由民主党 金澤 拓哉議員

1 救急現場での迅速な医療提供
2 児童養護施設への継続的な支援の在り方
3 農業担い手の経営の安定支援

3月2日

自由民主党 山田真太郎議員

1 子ども・若者の居場所づくり支援
2 子どものインターネット利用
3 農業水利施設の保全

自由民主党 佐藤 郁雄議員

1 ふくしまD/Cを契機とした鉄道観光振興
2 災害発生時のアスベスト対策
3 医療機関の支援

3月4日

自由民主党 鈴木 優樹議員

1 プレコンセプションケアの推進
2 無痛分娩について
3 いじめ事案への対応

自由民主党 三村 博隆議員

1 ふくしまクリーン復興構想について
2 震災の記憶と教訓の継承
3 狩猟者の確保と育成

自由民主党 金澤 拓哉議員

1 救急現場での迅速な医療提供
2 児童養護施設への継続的な支援の在り方
3 農業担い手の経営の安定支援

一般質問 〈主な質問事項〉

自由民主党 山田真太郎議員

1 子ども・若者の居場所づくり支援
2 子どものインターネット利用
3 農業水利施設の保全

自由民主党 佐藤 郁雄議員

1 ふくしまD/Cを契機とした鉄道観光振興
2 災害発生時のアスベスト対策
3 医療機関の支援